

台湾は元気いっぱいでした 委員会仲間と、通訳は僕の奥さん

社会貢献・環境対策委員会委員長 薛 博夫



委員会メンバーと台湾に行つて
きまゝした！

★台湾は入札制

日本では、太陽光発電の固定価格買い取り制度が決まりましたので、ソーラパネル設置を行つているホールもあると思いますが、台湾では、全量買い取りではなく、その都度政府が必要なKW数を示し、入札で落とす！というシステム。もし私が入札担当者なら、胃

に穴が空くような制度ですよ。

★若い人は素晴らしい

今回は、売電企業「TOPCO SCIENTIFIC」さんの高雄オフィスを訪問しました。印象は、若いみんな若い！エネルギーシユ！ITドラマに出てくるようなカッコいい事務所で、30代いや、ほとんど20代のスタッフたちが、協力工場から調達したパネルを（たとえば、養鶏場の屋根を借りて）設置。発電量や監視カメラなどをセンターで一元管理。導入費、保守点検費を最適化して、他より安い入札価格で落札。競争は企業を強くする？どんどん、売電量を伸ばしている企業さんです！これって、考えてみれば、新興電力会社ですよ。さらには日本にも



台北の野柳で奥様のせいさんと並び、ご機嫌の薛委員長

進出か！

★先端企業の隣は田舎

で、高雄と言えば、私の田舎なんです。実際には、郊外にある「左営」というのくんびりが売りの田舎！だったのですが…突如、新幹線の終着駅が出来ちゃって（高雄中心地までは、地下鉄に乗り換え）誰でも知って



いる養鶏場を視察。…1時間以上もバスで南下。屏東にやってきました。台湾は、沖縄よりさらに南の国、屏東は熱帯に分類されます。で、暑い、ほとんど夏…養鶏場は鶏糞で臭いだろうな…と思つたら…突如、近代的なオフィスビルが。ここはどこ？鶏は？って感じ。防塵服やら消毒液シャワーやらして見学です。今どきの、養鶏場ってハイテクなんですよ

★お礼

早朝7時羽田発で2泊3日の強行軍でしたが、中身の濃い視察になりました。会社訪問

り農家「薛家」と基金会の見学をして頂きました。ここは小学校の教科書にも紹介されているんですよ。

★防塵服着用は

パネル工場だけじゃない
さて、実際にパネルが設置され

をセッティングして頂いた環境経営戦略総研の村井哲之社長には、この場を借りてお礼申し上げます。私の奥様が通訳として同行したのですが…視察旅行は内容が濃いといたく感心してくれました。これからは、どこでも旅行は許可されそうです…甘い考えでしょうか。